

2月23日は工場夜景の日 工場地帯の意外な魅力を楽しもう

2月23日は、平成23年同日、第1

※回の全国工場夜景サミットが川崎市で開催されたことにちなんで、「工場夜景の日」とされています。昨年、本市で開催された同サミットで決定し、記念日として登録しました。

ものづくり産業都市である本市の南部には、多くの工場が集まっています。夜になり明かりがともると、一帯は幻想的な風景に変わり、近年は写真を撮影して楽しむ人が増えています。

※工場夜景の魅力をさらに全国に発信していくため、日本八大工場夜景都市（室蘭市・千葉市・川崎市・富士市・四日市市・周南市・北九州市・尼崎市）が連携し、毎年開催しています。

工場夜景の日トークイベント

2月23日(木)午後7時～8時30分、あまらぶアートラボ（西長洲町2丁目）で、小林哲朗さんなどによる、まちの風景の楽しみ方についてのトークを。定員先着30人。料金は無料。申し込み不要。詳しくは都市魅力創造発信課 ☎ 6489-6385へ。

工場夜景撮影バスツアー

2月24日(金)午後6時30分～9時30分、小林哲朗さんと市内の工場夜景スポット巡りを。定員先着15人。中学生以下の方は保護者同伴で。未成年者は保護者の同意が必要。料金は4,500円。申し込みは2月4日～15日に電話かEメール（住所・氏名・電話番号を書いて）でドリーム観光サービス ☎ 6488-5300、✉ yamamoto@dreamtravel.co.jpへ。

表紙の写真

市内在住の小林哲朗さん（右写真）は、11年前から工場夜景を撮り始め、写真家として今も撮り続けています。

表紙の写真は、初めて、尼崎をドローンを使って撮影したものだそうで、「高い所から尼崎を見て感動しました。工場があり、その後ろに街並み、背景には西宮などの山もあり、尼崎のまちがよく分かります」と語ります。

撮影のこつを尋ねると、「ドローン撮影をするには各所に申請が必要ですが、地上からでも、グッと寄って撮ると迫力ある写真が撮れます。尼崎はかなり工場に近づけるので、容易に工場夜景が撮れるところが良いですね。工場の敷地内には入らず、公道など公の場所から撮るように気を付けてください。撮影には足を照らすための懐中電灯を必ず持って行ってくださいね」と教えてくれました。

